

住田町立世田米中学校 第3学年 地域創造学学習指導案

日 時 令和3年9月29日(水)
場 所 住田町立世田米中学校 体育館
学 級 第3学年 計18名
授業者 杉下遼、黄川田潤一

1 単元名 第2単元「住田の魅力を発信しよう！」

2 単元について

中学校第3学年の「地域の魅力・課題を探究・発信」に関わる単元は、「住田の魅力を発信するための企画を完成させよう!」「住田の魅力を発信しよう!」「発信したものの成果・課題を明らかにしよう!」「活動の振り返りをしよう!」の4単元から構成されている。本単元は、中学校第3学年の第2単元にあたる。

本単元では、魅力発信の準備や実際に発信する活動を通して、「より分かりやすく魅力を伝えるためには今後どのようなことに取り組みれば良いか」といった考えを深めることや、「活動のねらいや詳細を適切に伝えることで、地域の方は親身になって協力していただける」といった社会参画意識を高めることをねらいに置きたい。以下、「題材」「生徒の実態」「指導にあたって」の特徴について紹介する。

(1) 題材について

単元で取り扱う題材は、「チェーンソーアート」「火縄銃鉄砲隊」といった住田町の地域資源である。生徒達は、昨年からこれまでの活動を通して、住田町の魅力を調査し、その魅力を発信する目的、発信先、発信方法を吟味し、発信の準備に取り組んできた。これらの活動を通して、「発信する目的を達成するためにはこの発信先、発信方法で良いのか」「発信する魅力を分かりやすく伝えるために必要なこと」についてより深く考える機会になったといえる。

本単元はこれまでに準備してきたプロジェクトの発信準備や、実際に発信する活動を予定している。活動を通して、発信内容の質の高さを上げることや、魅力を高めるために発信後に取り組むことを考えるなど、実行中のプロジェクトプランをより深める機会としたい。

(2) 生徒について

単元のねらいは、住田町の魅力を発信する活動を通して、「生徒の地域社会に対する見方・考え方を深めること・広げること」と「地域に対する社会参画意識を高めること」である。

昨年度、生徒達は発信したい住田町の魅力を選択しプロジェクトメンバーを立ち上げ、インターネットや取材活動を通して住田町の魅力を深めてきた。魅力発信の目的を「①住田町を知ってもらう」「②住田町に来てもらう」「③住田町に住んでももらう」のいずれかに設定したことにより、効果的な発信方法や発信したい相手について視点を持ちながら考えることができた。また、昨年度末に実施したプロジェクト報告会で得たアドバイスや意見が、「さらに魅力を深める必要がある」「より効果的な発信方法と発信先がある」といったことに気付く機会となった。

本単元はこれまでに準備してきたプロジェクトの発信準備や、実際に発信する活動を予定している。活動を通して、生徒達は、「〇〇の魅力を発信したが、□□の情報が不十分なので、それについて準備をし、再度発信したい」「発信内容をより多くの人に知ってもらうために別の方法を考えよう」など、実行中のプロジェ

クトプランをより深める機会としたい。

これらの特徴を踏まえ、社会的実践力の中でも、「A地域理解」「B1 見通す力」「B3 提案・発信する力」「C1 伝え合う力」「D1 感じ取る力」といった資質・能力を高められるよう、支援を講じていきたい。

(3) 指導にあたって

学習材の特徴と生徒の実態を踏まえ、「A地域理解」「B1 見通す力」「B3 提案・発信する力」「C1 伝え合う力」「D1 感じ取る力」といった資質・能力の育成に迫るために、それぞれの段階において、以下に示す活動を計画している。

単元の導入部では、発信に向けた計画を再確認する活動を取り入れる。具体的には、①これまで取り組んできた活動を振り返る、②発信に向けて必要なことは何かをメンバー間で共有する等である。

単元の展開部では、発信に向けた活動を取り入れる。具体的には、①発信に向けて関係機関と交渉する、②住田町の魅力を発信する、③発信後、更に魅力を伝えるための方法を考え実行する等である。

単元のまとめでは、本単元の取組を振り返る活動を取り入れる。具体的には、①魅力を十分に伝えることができたか振り返る、②実際に発信してみて分かった課題や改善策を考える等である。

3 単元の目標と評価規準

(1) 単元の目標

育成した資質・能力		資質・能力別の目標
社会的実践力	A 【地域理解】	○ 地域の方（メディア関係者やイベント参加者）と協力し、自分たちのグループが取り扱っている地域資源の魅力を、設定した相手に対して発信することができる。
	B 【社会参画に関する資質能力】	○ 自分たちが設定した相手に向けて、地域資源の魅力を発信するために、作成した計画に基づき自分達の取り組んでいる企画を推進することができる。
	C 【人間関係形成に関する資質能力】	○ 取り扱う地域資源の魅力や発信したい相手のことを意識しながら、自身の役割に応じて企画運営に携わることができる。
	D 【自立的活動に関する資質能力】	○ 自分達が取り組んでいる企画について、自分達なりの手ごたえを感じたり、改善点を見つけることができる。

(2) 評価規準

資質能力		評価規準
A	◎地域理解	【◎地】 ◆地域の方（メディア関係者やイベントの参加者）と協力し、自分たちのグループが取り扱っている地域資源の魅力を、設定した相手に対して発信している。
B	社会参画に関する資質能力 1 ☆見通す力 3 ☆提案・発信する力	【☆見】 【☆提】 ◆企画を実現し地域の魅力を伝えるために、各自の役割・スケジュール等をグループで確認・共有している。 ◆自分達が設定した相手に向けて、地域資源の魅力を発信するために、作成した計画に基づき企画に取り組んでいる。

関わる資質能力 C人間関係形成に	1 ☆伝え合う力	【☆伝】	◆企画の実現のために、関係者（メディアや参加者）に企画の趣旨を的確に伝え、協力者を得ようとしている。
する資質能力 D自律的活動に関	1 ☆感じ取る力	【☆感】	◆発信や運営を通して、自分達が取り組んでいる企画について、自分達なりの手ごたえを感じたり改善点を見つけたりしている。

4 単元の指導・評価計画（本時 第7時／全13時間）

月	小単元名	プロセス	時	主な学習活動	関連する 教科・領域	評価項目 (評価方法)
8	発信に向けた計画を再確認しよう！	現状把握、課題設定、計画する・見直しを持つ	1	○発信に向けた計画を再確認する。 ・これまで取り組んできた活動を振り返る。 ・発信に向けて必要なことは何かをメンバー間で共有する。	【国語 話し合いを効果的に進める】B3	・B1 ☆見通す力 (ポートフォリオ ※第4単元で個人内評価)
8・9	発信に向けて取り組もう！	実施・改善	4	○発信に向けて関係機関と交渉する。 ・発信の期日や場所などについて確認する。		・B3 ☆提案・発信する力、C1 ☆伝え合う力(行程表 チェックリスト)
9			7(本時)	○住田の魅力を発信する。 ・計画に沿って住田町の魅力を発信する。 ・発信後、更に魅力を伝えるための方法を考え、実行する。		
9	取り組みの振り返りをしよう！	まとめと振り返り	1	○本単元の振り返りに取り組む。 ・魅力を十分に伝えることができたか振り返る。 ・実際に発信してみて分かった課題や改善策を考える。		・A ◎地域理解、D1 ☆感じ取る力(振り返りシートの記述 個人内評価)

◎ 本単元で使用したルーブリック

「第1単元 住田の魅力を発信するための最終準備をしよう！」のルーブリック

みとる資質・能力		D2 ☆創出する力 ※A ◎地域理解
取り組むパフォーマンス		これまでに準備してきたプロジェクトプランを改良した企画書を発表する。 (全16時間)
パフォーマンスの特徴	A	昨年度作成したプロジェクトプランを改良した結果が、経緯とともに分かりやすく説明されており、なおかつ魅力を発信する目的、発信先、発信方法を明確にして発表している。 (改良した経緯の説明の例：①以前は〇〇としていたが、□□するためには△△の方が良いと考え、変更した。 ②〇〇について情報が足りなかったので□□について取材し、△△だということがわかった。) (魅力発信の目的：住田に[①住んで②来て③知って]もらう、のいずれか)
	B	発信する目的、発信先、発信方法を明確にして発表している。
	支援の手立て	・昨年度のプロジェクトプラン発表会での助言を振り返る。 ・問いを通して発信内容に一貫性があるか考えさせる。

6 本時の指導

(1) 目標

住田町の魅力を①計画に基づきながら発信に向けた準備に取り組んでいる。②計画に沿って発信している。③発信を終え、更に魅力を伝えるための方法を考え実行に移している。【B社会参画に関する資質能力 B3 ☆提案・発信する力】

(2) 評価について

○本時のチェックリスト

みとる資質能力	項目	支援の手立て
B3 ☆ 提案・発信する力	<ul style="list-style-type: none"> ・魅力の発信に当たって、 ①※発信する物に改良を加えていたか？ ②実際に発信するための※手続きを行ったか？ ③魅力発信後、更に魅力を伝える方法の提案・準備・実行をしたか？ <p>の3つの観点のいずれかに対して提案もしくは作業をすることができた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・発信先に対する相手意識をもたせる問いかけを行う。 ・他グループの発信方法を参考にさせるなど、より効果的に魅力を発信するための方法を考えさせる。

※発信する物…パンフレット、ポスター、SNSに投稿する文書・写真など

※手続き…SNSに投稿する文書・写真の教師への完成報告、外部への発信完了の周知や拡散の要請など

(3) 展開

階	学習内容・学習活動	・指導上の留意点 ◆評価
導入 5分	<p>1 大単元のテーマの確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テーマ「住田町の魅力を発信しよう！」を示し、大単元の目的について確認する。 <p>2 「学習課題」の設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前時の活動を踏まえて、本時の「学習課題」を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px; text-align: center;"> <p>学習課題：「プロジェクトを進めよう。」</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度から取り組んできたプロジェクトの集大成となる単元であることを、改めて確認させる。 ・事前に振り返りシートを返却し、「学習課題」についての見通しをイメージさせる。
展開 35分	<p>3 活動の見通しの共有</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクトの進行状況によって取り組む内容が変わることを確認する。 <p>4 プロジェクトの進行</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループで役割を確認しながら、プロジェクトを進める。 <p>5 各グループで取り組んだ内容を全体で共有する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・グループの進行状況に合わせて、下のいずれかの取組になることを確認させる。 <ul style="list-style-type: none"> ①発信のための準備をすすめる ②発信作業に入る ③発信後、更に魅力を伝えるための方法を考え実行する ◆自分たちが設定した相手に向けて、地域資源の魅力を発信するために、作成した計画に基づき企画に取り組んでいる。【☆提】(チェックリスト)
まとめ 10分	<p>6 振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・振り返りシートを記入する。 <p>7 次時の学習の確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・振り返りの内容を踏まえ、次時に取り組みたいことを提案する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時に取り組んだ内容を踏まえ、振り返りシートの「取り組んだこと」「成果」「課題」「次回取り組みたいこと」を記入するように促す。